



本資料は、米国アッヴィ社が2023年2月9日(米国時間)に発表したプレスリリースを一部、日本語に翻訳し、2023年2月15日(日本時間)、皆さまのご参考として供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語が優先します。本資料(英文)については、www.abbvie.comをご覧ください。なお本文中には日本未承認薬、未承認適応症に関する情報が含まれています。

PRESS RELEASE

2023年2月15日

アッヴィ、2022年第4四半期および通年の業績を発表

- 2022年度の希薄化後1株当たり利益(EPS)はGAAPベースで、2.8%増の6.63ドルでした。調整後希薄化後EPSは16.4%増の13.77ドルでした。これらには、2022年に取得した仕掛研究開発費およびマイルストーン支払に関連した1株当たり0.39ドルのマイナスの影響が含まれます¹。
- 2022年度の売上高は、報告ベースで3.3%増、営業ベースで5.1%増の580億5,400万ドルでした。
- イミュノロジー(免疫)領域の通年の売上高は、報告ベースで14.4%増、営業ベースで16.0%増の289億2,400万ドルでした。ヒュミラ®の売上高は、212億3,700万ドルでした。スキリージ®の売上高は、51億6,500万ドルでした。リンヴォック®の売上高は、25億2,200万ドルでした。
- 血液腫瘍領域の通年の売上高は、報告ベースで9.0%減、営業ベースで7.6%減の65億7,700万ドルでした。イムブルビカ®(日本ではヤンセンファーマ株式会社による承認・販売)の売上高は、45億6,800万ドルでした。ベネクレクスタ®の売上高は、20億900万ドルでした。
- 精神・神経疾患領域の通年の売上高は、報告ベースで10.1%増、営業ベースで11.6%増の65億2,800万ドルでした。ボトックス・セラピューティック(日本ではグラクソ・スミスクライン株式会社による承認承継・販売)の売上高は、27億1,900万ドルでした。Vraylar(日本では未承認・未発売)の売上高は、20億3,800万ドルでした。
- エステティクス領域の通年の売上高は、報告ベースで1.9%増、営業ベースで5.1%増の53億3,300万ドルでした。ボトックス・コスメティックの売上高は、26億1,500万ドルでした。Juvederm(ジュビダームビスタ®として、アラガン・ジャパン株式会社による承認・販売)の売上高は、14億2,800万ドルでした。
- 2022年第4四半期のGAAPベースの希薄化後EPSは38.9%減の1.38ドルでした。調整後希薄化後EPSは16.9%増の3.60ドルでした。これらには、2022年に取得した仕掛研究開発費およびマイルストーン支払に関連した1株当たり0.13ドルのマイナスの影響が含まれます。
- 2022年第4四半期の売上高は、報告ベースで1.6%増、営業ベースで3.8%増の151億2,100万ドルでした。
- 2023年度における調整後希薄化後EPSの見通しは、10.70ドル~11.10ドルです。これには、仕掛研究開発費およびマイルストーン支払に関連したマイナスの影響は含まれません。

米国イリノイ州ノースシカゴ、2023年2月9日—アッヴィ(NYSE: ABBV)は、2022年第4四半期および通年(2022年12月31日終了)の業績を発表しました。



アッヴィの会長兼 CEO のリチャード・A・ゴンザレスは、次のように述べています。「2022 年もまた好業績を上げ、優れた業績を達成してきたこの 10 年を締めくくる一年となりました。事業開始以来、リーディングポジションを有する成長製品の多様なポートフォリオを構築し、革新的なパイプラインの開発を進め、実行力のある文化を醸成してきました。将来を見据えると、このような強固な基盤の下、米国でのヒュミラ®の特許権の消滅の影響は抑制され、2025 年には堅調な売上高に戻り、長期的にトップクラスの財務実績を達成するでしょう」

注意: 「営業ベース (Operational)」の対比は、恒常為替レートで提示し、前年の為替レートにより現地通貨売上高の比較を実施しています。

¹ 2022 年第 1 四半期から、アッヴィは、コラボレーション、ライセンス契約、資産取得などに関する前払およびマイルストーン支払の影響を報告ベースの non-GAAP 指標に含めています。

2022 年第 4 四半期の業績

- 売上高は、報告ベースで 1.6% 増、営業ベースで 3.8% 増の 151 億 2,100 万ドルでした。
- イミュノロジー (免疫) 領域の売上高は、報告ベースで 17.5% 増、営業ベースで 19.5% 増の 79 億 2,500 万ドルでした。
 - ヒュミラ®の売上高は、報告ベースで 4.6% 増、営業ベースで 6.0% 増の 55 億 7,900 万ドルでした。米国での売上高は、9.9% 増の 50 億 600 万ドルで、米国外では報告ベースで 26.5% 減、営業ベースで 16.9% 減の 5 億 7,300 万ドルでした。
 - スキリージ®の売上高は、報告ベースで 76.1% 増、営業ベースで 78.9% 増の 15 億 7,600 万ドルでした。
 - リンヴォック®の売上高は、報告ベースで 49.0% 増、営業ベースで 55.4% 増の 7 億 7,000 万ドルでした。
- 血液腫瘍領域の売上高は、報告ベースで 12.9% 減、営業ベースで 11.2% 減の 16 億 3,100 万ドルでした。
 - イムブルピカ® (日本ではヤンセンファーマ株式会社による承認・販売) の売上高は 19.5% 減の 11 億 1,500 万ドルで、その内訳は、米国内が 8 億 4,100 万ドル、米国外が 2 億 7,400 万ドルでした。
 - ベネクレクスタ®の売上高は、報告ベースで 5.7% 増、営業ベースで 12.2% 増の 5 億 1,600 万ドルでした。
- 精神・神経疾患領域の売上高は、報告ベースで 3.4% 増、営業ベースで 5.1% 増の 17 億 1,000 万ドルでした。
 - ボトックス・セラピューティック (日本ではグラクソ・スミスクライン株式会社による承認承継・販売) の売上高は、報告ベースで 8.5% 増、営業ベースで 10.7% 増の 7 億 2,800 万ドルでした。
 - Vraylar (日本で未承認・未発売) の売上高は、15.5% 増の 5 億 6,500 万ドルでした。
 - Ubrelvy (日本で未承認・未発売) の売上高は、7.7% 増の 1 億 9,700 万ドルでした。
- エステティクス領域の売上高は、報告ベースで 8.5% 減、営業ベースで 4.2% 減の 12 億 8,700 万ドルでした。
 - ボトックス・コスメティックの売上高は、報告ベースで 2.6% 増、営業ベースで 7.1% 増の、6 億 4,200 万ドルでした。



- Juvederm (ジュービダームビスタ®として、アラガン・ジャパン株式会社による承認・販売)の売上高は、報告ベースで25.4%減、営業ベースで19.0%減の3億2,200万ドルでした。
- GAAPベースで、売上総利益率は72.4%でした。調整後売上総利益率は86.0%でした。
- GAAPベースで、売上高に占める販売費および一般管理費の割合は、22.6%でした。調整後の売上高に占める販売費および一般管理費の割合は20.8%でした。
- GAAPベースで、売上高に占める研究開発費の割合は、11.8%でした。調整後の研究開発費の売上高に占める割合は、パイプラインへの投資を反映し、11.5%でした。
- 取得した仕掛研究開発費およびマイルストーン支払の売上高に占める割合は1.6%でした。
- GAAPベースで、営業利益率は36.4%でした。調整後営業利益率は52.1%でした。
- 純支払利息は4億7,600万ドルでした。
- GAAPベースで、税率は16.6%でした。調整後の税率は、13.4%でした。
- 希薄化後EPSは、GAAPベースで1.38ドルでした。特定項目を除く調整後希薄化後EPSは、3.60ドルでした。これらには、取得した仕掛研究開発費およびマイルストーン支払に関連した1株当たり0.13ドルのマイナスの影響が含まれます¹。

注意: 「営業ベース(Operational)」の対比は、恒常為替レートで提示し、前年の為替レートにより現地通貨売上高の比較を実施しています。

詳細な情報はこちらをご覧ください(英文オリジナル)。

https://news.abbvie.com/news/press-releases/abbvie-reports-full-year-and-fourth-quarter-2022-financial-results.htm?_ga=2.63835887.1708260056.1675991961-2144444008.1671429716

アッヴィについて

アッヴィのミッションは現在の深刻な健康課題を解決する革新的な医薬品の創製と提供、そして未来に向けて医療上の困難な課題に挑むことです。患者さん一人ひとりの人生を豊かなものにするため次の主要領域に取り組んでいます。免疫疾患、がん、精神・神経疾患、アイケア、ウイルス、ウイメンズヘルス、消化器疾患、さらにアラガンエステティクスポートフォリオの製品・サービスです。アッヴィの詳細については、www.abbvie.com をご覧ください。Twitter アカウント [@abbvie](https://twitter.com/abbvie)、[Facebook](https://www.facebook.com/abbvie)、[LinkedIn](https://www.linkedin.com/company/abbvie) や [Instagram](https://www.instagram.com/abbvie) でも情報を公開しています。

Forward-Looking Statements

Some statements in this news release are, or may be considered, forward-looking statements for purposes of the Private Securities Litigation Reform Act of 1995. The words "believe," "expect," "anticipate," "project" and similar expressions and uses of future or conditional verbs, generally identify forward-looking statements. AbbVie cautions that these forward-looking statements are subject to risks and uncertainties that may cause actual results to differ materially from those expressed or implied in the forward-looking statements. Such risks and uncertainties include, but are not limited to, challenges to intellectual property, competition from other products, difficulties inherent in the research and development process, adverse litigation or government action, and changes to laws and regulations applicable to our industry. Additional information about the economic, competitive, governmental, technological and other factors that may affect AbbVie's operations is set



forth in Item 1A, "Risk Factors," of AbbVie's 2021 Annual Report on Form 10-K, which has been filed with the Securities and Exchange Commission, as updated by its Quarterly Reports on Form 10-Q and in other documents that AbbVie subsequently files with the Securities and Exchange Commission that update, supplement or supersede such information. AbbVie undertakes no obligation, and specifically declines, to release publicly any revisions to forward-looking statements as a result of subsequent events or developments, except as required by law.